

6月定例県議会のご報告 <6月17日~7月5日>

番号	議案名(件名)
議案第1号	山口県税賦課徴収条例の一部を改正する条例
議案第2号	過疎地域等における県税の特例に関する条例の一部を改正する条例
議案第3号	幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例の一部を改正する条例
議案第4号	山口県立高等学校等条例の一部を改正する条例
議案第5号	地方独立行政法人山口県立病院機構に係る中期計画の変更の認可をすることについて
議案第6号	条例の改正に関する専決処分について
議案第7号	公安委員会の委員の任命について
議案第8号	取用委員会の委員及び予備委員の任命について
請願第1号	上関町に計画されている「中間貯蔵施設」に反対の意思表示を求めることについて
請願第2号	柳井・周南地域の再編統合の白紙化と周防大島高校県立大学付属高校化に関することについて

主な議案



議案第1号は外形標準課税*について、減資や100%子法人の条件を変更する条例改正です。
*資本金1億円以上の企業に対し課税をする制度

議案第3号は幼保連携型認定こども園以外の認定こども園について、職員配置基準を変更する条例改正です。

議案第4号は、厚狭高校と田部高校を再編統合し、新高校(厚狭明進高校)を設置するための条例改正です。

産業脱炭素化推進特別委員会

県内<5月21日>



中国電力(株)

農業と発電を両立する営農型太陽光発電の説明を受け視察しました。また、カーボンニュートラルに向けた水素、アンモニア、CCS等の検討状況について説明を受けました。



UBE三菱セメント(株) UBE(株)

セメント製造プロセスの実機レベルでは世界初となるアンモニア混焼の取り組みについて視察しました。分離膜によるCO₂の有効利用について説明を受けました。

県外<2月15日~16日>



大成建設(株) 技術センター

セメント使用量を抑制し、CO₂削減が可能なカーボンニュートラル・コンクリートを視察しました。また、CO₂を地中に固定化するCCSの説明を受けました。



(株)レゾナック 川崎事業所

使用済プラスチックを化石燃料により燃やさず、分子に戻してアンモニアと炭酸製品にする「ケミカルリサイクル」の説明を受けました。

山口県議会議員

大内一也

県政報告 [第5号]

2024年6月定例会版



プロフィール
1973年10月生(周南市出身) 徳山幼~徳山小~岐陽中~徳山高卒
1996年 山口大学経済学部卒 同年 NTT(現NTT西日本)入社
2023年 山口県議会議員初当選
現在、国民民主党山口県連代表、新南陽若山ライオンズクラブ幹事
<特技>趣味>柔道、フットゴルフ <頑張っていること>子育て <好きな食べ物>うどん・みかん

ご挨拶

県議会議員となって早一年が経過しまして、日々さまざまなご相談、ご要望を皆様からお受けいたしております。今回の6月定例会では、議場に登壇して一般質問をさせていただきました。

その中で、県としてしっかりと方針を打ち立て進めるべきと考える内容について、5つのテーマで質問をしております。昨今、テレビや新聞などでも取り上げられているお客様からの迷惑行為である「カスタマー・ハラスメント」の問題、特に周南市が抱える大きな課題であり県としても対応が必要な野犬問題など、独自に行った現地視察等も踏まえて質問いたしました。

これからも、県民の皆様からの声を県政へしっかりと届けていくために頑張っております。

大内一也

2024年上半期成果報告

県民の皆様から寄せられたお困りごとやご要望に対応すべく、日々活動を続けております。今年1月から6月にかけて実現した改善や現地視察等の成果をご報告します。

お困りごとを解決①

新南陽駅近くの清水東公園の雑草が生い茂り、歩行の妨げになっているとのこと相談を受け、仲間と草刈りを行いました。



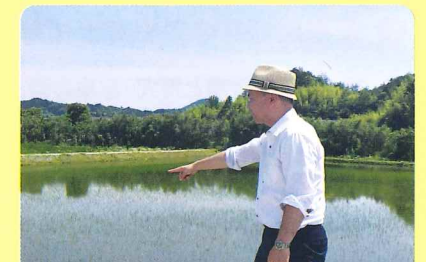
お困りごとを解決②

自動車が縁石ブロックに当たることが多いので何とかしてほしいとのことのお困りごとを伺い、反射板のついたポールを行政に設置していただきました。



農業の現地視察

ドローンを活用した稲作の視察をさせていただきました。担い手不足の解決のみならず、新たな技術の活用で若者の雇用に繋がる可能性を感じ、たいへん勉強になりました。



「困ったな」と思ったら、
まずは「ご連絡ください」。

山口県議会議員 大内一也

【お問い合わせ先】
〒746-0015 山口県周南市清水2丁目11-11共立ビル1F
TEL 0834-34-1980 携帯 090-4578-8275
E-mail info@ouchikazuya.com
URL http://ouchikazuya.com

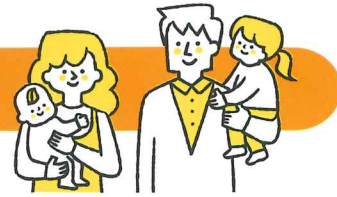
各種SNSはこちらから

- Instagram
- OX(旧Twitter)
- YouTube
- Facebook
- WEBサイト



大内一也 検索

テーマ1 少子化対策について



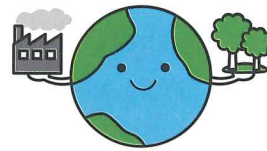
Q 出生数に密接に関わる婚姻数増加に向けた支援は？

A やまぐち結婚応援センターを核に出会いから成婚までの一貫した支援に取り組み、AIによる提案など9,400件を超える引き合わせを実現。しものせき水族館「海響館」において大規模婚活イベントを開催予定。結婚される方への経済的な支援については、県内約700店舗の協賛事業所で結婚や引っ越しに要する費用の割引等の優待サービスが受けられる「やまぐち結婚応援パスポート事業」を展開し、これまで2,000人を超える方にご利用いただいている。結婚新生活支援事業について、引き続き情報提供や県内の取組事例の紹介に努めていく。

テーマ2 カーボンニュートラルポートの整備について

Q アンモニアサプライチェーン構築のファーストムーバーである周南コンビナートの取り組みなどをさらに推し進めるため、国とどのような連携を図り、カーボンニュートラルポート形成推進に取り組んでいくのか。

A 周南コンビナートを抱える徳山下松港では、国や企業等と連携し本年3月に港湾脱炭素化推進計画を策定。今後は、この計画に基づきバイオマスの利用拡大を進め、CO₂の分離・回収や発電時のアンモニアの混焼・専焼、これらに必要な岸壁や輸送・保管施設の整備などについて検討していく。



テーマ3 カスタマーハラスメント対策について

Q カスタマーハラスメント防止に向けた取り組みを見据え、まずは関係団体へのヒアリング、県内従業員・県職員へのアンケート調査など、実態把握を進めることはできないか。

A 国が全国調査を昨年度実施したため、現時点では実態調査等を行うことは考えていない。国の動向も注視しながら、引き続き、企業の自主的な取り組みが進むようカスタハラ対策に取り組む。県職員への実態把握については、職場訪問等の機会を通じて実態把握に努めている。



テーマ4 農業におけるデジタル活用とイノベーション支援について

Q 農業におけるドローンなどのデジタル活用について県の取り組み状況と、稲作の乾田直播栽培など新しい取り組みへの伴走支援、農業のイノベーションの支援についての考えは？

A デジタル技術の普及促進に向けては、スマート農機の導入に加え、新技術活用で経営改善に取り組む中核経営体をモデル選定し、機械やシステムの導入を支援。また、県や農業機械メーカー等で構成するチームを派遣する伴走支援を実施。新たな栽培技術のイノベーション支援については「農林業の知と技の拠点」において、民間企業や大学等との共同研究により、新技術の開発を加速化する。



テーマ5 野犬対策について

Q 野犬対策の推進には、餌やり防止に繋げるため、処分数が大幅に減少している現状や譲渡された犬の様子などを広く県民に理解、認知してもらう発信の強化や、捕獲、保護された犬の譲渡活動を行う動物愛護団体への支援の強化が重要と考えるが、今後、県では野犬対策にどう取り組まれるのか。

A 県民の理解が深まるよう、動物愛護センターで譲渡された犬等を紹介した写真展や、動物愛護団体等と連携したイベントでの活動紹介等の情報発信を強化する。現時点で補助金による動物愛護団体等への支援までは考えていないが、捕獲した犬の寄生虫駆除に加え、昨年度から感染症予防のワクチン接種を各保健所で開始し、団体等の譲渡活動の負担軽減を図っている。



6月定例会 一般質問の様子

産業観光委員会 <7月1日~3日>

産業労働部関連の質問

Q 未来につながるやまぐち共育で応援事業について教えてほしい。

A 男女ともに仕事と育児・家事の両立可能な社会の実現に向け、育休取得率100%及び1か月以上の育休取得を推奨する企業を「やまぐち“とも×いく”応援企業」として登録する制度の創設や奨励金の支給、また男性育休への手当や奨励金、テレワークや子連れ出勤に係る環境整備等に対し補助金を交付する。



Q 女性は育休復帰後も急な保育園へのお迎えなどがあり、短時間勤務など柔軟な働き方を企業が理解し推進することが重要と考えるが、それを応援する制度があれば教えてほしい。

A 働き方改革支援センターのアドバイザーが企業訪問し助言している。今年度からは「やまぐち“とも×いく”アドバイザー」を養成しサポート内容の充実を図っている。

Q 女子トイレ・更衣室の職場環境整備の支援についてニーズが高いと思うがなかなか認知がされていない。どのように周知しているのか教えてほしい。

A 約1,100の企業等が加入している山口労働協会の機関誌に情報掲載、また各県民局の中小企業労働相談員の企業訪問による周知のほか、県が主催する各種セミナーなどにおいて制度を紹介している。

Q 事業承継ができない要因と、事業承継を進めるためにどのように取り組むのか。

A 「子どもがいない」などの後継者難や「事業に将来性がない」といった理由が挙げられ、本県の後継者不在率は60.3%と全国平均53.9%を上回っている。県では「事業承継支援ネットワーク会議」を核に円滑な事業承継の促進を図っており、8~9月を集中支援期間と定めて広報を強化、セミナー等を集中的に実施している。

事業承継



Q 事業承継による休廃業の歯止めとともに創業支援も重要である。どのように取り組まれるのか。

A 「やまぐち創業補助金」制度や相談窓口の設置、創業ポータルサイトによる情報発信などを進めている。また女性の創業支援を行い、今年度よりビジネスプランコンテスト等を実施。さらに移住創業のニーズに対応するため移住支援金を東京23区から東京圏、中京圏、近畿圏に拡大するなど強化している。

観光スポーツ文化部関連の質問

Q サイクル県やまぐちprojectの推進でサイクリングを楽しむ県民も増えているが、安全走行の対策は。

A 矢羽根型路面標示ルートで自転車道を表示。また動画などにより安全走行の啓発をしている。

